

同窓会役員名簿

自平成26年4月1日 至平成28年3月31日

No.	役職	期	氏名
1	会長	4	佐藤 正樹
2	副会長	4	亀山 純
3	副会長	5	金春 彦
4	会計監査	1	新佐藤 誠生
5	会計監査	8	美藤 美弘
6	会計監査	21	伊藤 豊
7	理事	1	佐藤 陽子
8	理事	1	鎌田 陽子
9	理事	2	今野 幸
10	理事	4	渡野 幸
11	幹事	8	森 剛
12	幹事	14	藤 理知
13	幹事	26	佐藤 洋志
14	幹事	33	金木 勇治
15	幹事	33	佐藤 太郎
16	幹事	33	佐藤 太貴
17	幹事	33	太田 唯人
18	幹事	34	土井 菜平
19	幹事	34	土井 昌春
20	幹事	34	土井 夢和
21	幹事	34	森 裕太
22	幹事	35	今野 希樹
23	幹事	35	佐藤 太
24	幹事	35	須藤 虹
25	幹事	35	金子 夫悦
26	顧問	1	加藤 利夫
27	校長		木村 睦夫
28	教頭		伊藤 恒史
29	事務長		藤 石
30	総務主任		大 史
31	校内幹事		大 史
32	校内幹事		佐々木 徹

第36期代表幹事

- 3A 佐藤 誠仁 3C 菊地麻衣子
- 3B 齋藤 祐太 3D 佐藤 美雪
- 中津 彰太 西村 理希

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませぬ。新たに同窓会員となられたことを同窓会を代表して歓迎いたします。皆さんのこれからの活躍が卒業した母校の在校生諸君の力となっていくことを自覚されるよう心より望みます。また、これからのあらゆる経験が後輩たちの道標となるようこれからの新しい生活を我々も応援していきま



新しい環境に向けて

同窓会長 佐藤 正樹 ◆4期◆

現代の社会はストレス社会なのだそう。いろいろなストレスがあり、良いストレスと悪いストレスがあるそうです。良いストレスとは、自分を成長させるためのものです。充実感、達成感を与えるものです。具体的には、仕事を成し遂げるための目標だったり、夢をかなえるための努力といったものがこれにあたると思います。適度なプレッシャーは仕事の能率を上げ、成し遂げた時の解放感に喜びに変わり人間を成長させます。反対に、悪いストレスとは、人間関係の不和、疲労、不安など、自身の身体が苦しくなったり、気持ちが不安定になり、ヤル気をなくすなどの症状が起ることをいいます。皆さんは、新しい環境で対人関係や仕事で無理をしがちになるかもしれません。我慢しすぎたりすると知らないうちにスト



発行者  
秋田県立  
仁賀保高等学校  
同窓会事務局  
TEL(0184)43-4791  
http://nikaho-hsaa.com/



スのため込み、結果、体調不安に陥る可能性があるということを覚えておいてほしいと思います。そうならないためには、自分の悩みを相談できる友人や先輩、上司との良い関係を作り、時々、自分の趣味などに没頭し、上手く気分転換を行なうことが大切です。心身共に健康な新生活を送るため、皆さんの記憶の片隅に置いていただければと思います。

仁高3年間は人生の宝

渡部 幸悦 ◆4期◆



年後に訪れるバブル景気の足音が僅かに感じられていた時代だったように思います。私にとって高校時代の3年間は、何者にも代え難い素晴らしい3年間でした。まさか今のような少子高齢化の時代がやってくるなどとは、微塵も思ってい

4期生である私が仁賀保高校に入学したのは1980年の春でした。当時、日本の技術は世界を席巻しウォークマンが大ヒット、新設・仁賀保高校は最初の1期の卒業生を送り出し、未来は明るく希望に満ちていました。今思えば、その数

私は吹奏楽部に入部し、朝の5時には登校し午後9時に下校する生活を3年間やり通しました。当時は当直のおじさんが居て部活で遅くなっても融通を利かせてくれた良い時代でした。正月3日お盆3日の計6日間ほどしか年間の部活休み

がなかったのですが目標が明確だったから辛いとは思いませんでした。高校生活の全てを部活に注いだ3年間でした。3年生の時、全日本吹奏楽コンクールに初出場、まさかの金賞を受賞しました。何かに打ち込むことの大切さを学んだ気がします。50歳を過ぎた今でも、目を閉じれば、普門館での演奏終了後の歓声と拍手が聞こえてきます。金賞だろうが何だろうが、全国大会に出場したということは、一生の心の支えになるものです。

「あの時、自分は、やったんだ」と。世の中の誰もがそのことを忘れ去ったとしても、自分

卒業生 たいより

自分の仕事にやりがいをもつて

今野 未来 ◆33期◆



相手の仕事です。私の何倍も生きている大先輩方です。やはり、失礼があつてはいけないと思います。私の言動一つで怒ったり傷付けたたりすることのないよう、日々気を付けています。

お年寄りの方々との会話だけではありません。食事や入浴といった生活のお手伝いをするわけですから、大変な時もあります。ですが、お年寄りの方々には、好きで人の手を借りて生活をしていくわけではありませ

私では役不足だと思いますが、少しでも力になれて笑顔でいてくれたらと思っています。まだまだ未熟ですが、これからの仕事に自信を持っていきたいと思っています。

仁賀保高校卒業後は、地元の介護施設で働いています。この仕事を選んだ理由は、人の役に立つ仕事が出来たことだからです。わからないことだらけで戸惑うこともありましたが、今は仕事にも慣れ充実しています。

介護の仕事は、お年寄りの介護の事は、お年寄りがなかつたのですが目標が明確だったから辛いとは思いませんでした。高校生活の全てを部活に注いだ3年間でした。3年生の時、全日本吹奏楽コンクールに初出場、まさかの金賞を受賞しました。何かに打ち込むことの大切さを学んだ気がします。50歳を過ぎた今でも、目を閉じれば、普門館での演奏終了後の歓声と拍手が聞こえてきます。金賞だろうが何だろうが、全国大会に出場したということは、一生の心の支えになるものです。

「あの日、自分は、やったんだ」と。世の中の誰もがそのことを忘れ去ったとしても、自分

私では役不足だと思いますが、少しでも力になれて笑顔でいてくれたらと思っています。まだまだ未熟ですが、これからの仕事に自信を持っていきたいと思っています。

